

入院決定～入院までのスケジュール

1. 外来診察、入院前検査

各診療科にて診察、必要な検査を行い入院を決定します。

入院が決まりましたら、次の予約をとります。

- 入院前・検査前の新型コロナウイルス検査
- 入院説明
- 薬剤師外来（いつも内服している薬がある方）



診察や検査の際は、

アクセサリ類は事前にお外しになり、ご自身にて保管をお願いします。



2. 入院前・検査前の新型コロナウイルス検査



入院日及び検査日の前日から4日以内に行います。

但し、入院及び検査の予定が午前10：30以前にある場合には、2日前までに行います。

★検査結果は、陽性の場合のみ電話連絡します。

術前検査室は、

- ⑮ 入退院支援室 医療福祉相談室を過ぎて、
すぐ左手にあります。



3. 入院説明（A棟1階 院内表示⑧入院支援室）

患者さんが安心して入院し治療を受けることができるように、入院時に準備していただく物品や病室の希望の確認など、入院までの流れを看護師が説明します。



4.入院説明後に入退院受付へ（A棟1階 院内表示⑥入退院受付）

入退院受付にて、入院当日に持参していただく書類やレンタル寝衣やおむつ、高額療養費制度などについて事務職員が説明します。



●入院セット（タオル、パジャマ、おむつ）のレンタルについて（詳しくは別紙「入院セットのご案内」をご参照ください。）

A：病衣、タオル・・・¥500（税込）／1日×利用日数



パジャマ



浴衣



甚平



マタニティ



タオル

病衣は薄手でポケットはついておりませんが、ポケットのついた羽織るものや肩掛けポーチなどがあると便利です。

B：おむつ・・・¥500（税込）／1日×利用日数

C：病衣・タオル・おむつセット・・・¥950（税込）／1日×利用日数

D：お泊りセット（リンスインシャンプー、ボディソープ、歯磨き粉&歯ブラシ）
・・・¥650（税込）1セット

- ・90%以上の入院患者さんが申し込まれています。
- ・おむつに関しては、テープ式おむつ、リハビリパンツ、夜1枚安心パッド、軟便パッドの中から患者さんの状態に合わせたおむつを選択しています。
- ・「夜1枚安心パッド」は、900ccの尿を吸収するので夜間、体位を変えるたびに交換をしなくてよいため安眠できます。
- ・「軟便パッド」は、便による皮膚への接着面を低減するため、便によるおむつかぶれを防ぎます。

※おむつセットを申し込まれない方は、ドラッグストア等でお買い求めになり、病院までご持参ください。

おむつの種類は複数あり選択が難しい場合もありますので、レンタルをお勧めします。

5.薬剤師外来へ（A棟1階 院内表示⑩薬局）

お薬を内服している方は、入院前に薬剤師より入院後に中止する薬の有無などについて説明します。お薬とお薬手帳をご持参ください。

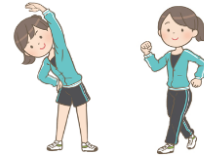


～入院までの過ごし方～

- 適度な運動をして体力をつけておきましょう。

退院後に体力不足を感じられる方は大勢いらっしゃいます。

活動が制限される入院生活では運動不足になりやすいからです。



- 歯医者さんで歯周病や虫歯の治療をしておきましょう。

入院するということは何かしらの病気を持っており、普段より免疫力が衰えている状態になります。

免疫力が下がっている状態で、お口が汚れていたり虫歯や歯周病があったりすると、肺炎や心内膜炎などを引き起こす可能性があります。

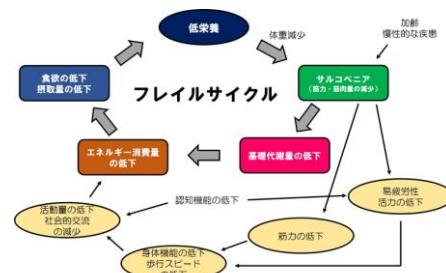
入院前は、まずお口の中の病気を治し、歯石などの汚れも落としてから入院していただくことをお勧めします。



フレイルについて

フレイルは、介護が必要になりそうな状態のことを指します。特に入院する場合は、治療による体力消耗などで運動量も少なくなりがちです。運動量が減ると、消費するエネルギーが減る、消費エネルギーが減るとお腹が空きにくくなる（食べる量が減る）、食べる量が減ると動くエネルギーが足りなくなる、エネルギーが足りないと動けなくなる・・・という負の連鎖になってしまいます。これを「フレイルサイクル」と呼んでいます。

このフレイルサイクルにならないように、当院では食事・運動をはじめとした様々な角度から予防対策を行っています。



【フレイルサイクル】

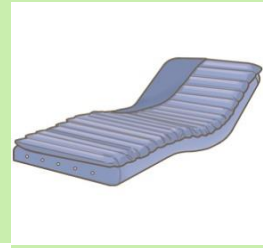


【院内デイケア】

体操をして体力低下予防をしたり、脳トレをして認知機能低下予防をしたりしています
※現在は感染予防対策のため、集合形式ではなく個別で実施しています

床ずれや創傷(そうしょう)の予防

入院、手術によりベッド上での安静が続くと皮膚の弱い高齢の方に限らず、床ずれができることがあります。床ずれは、骨が出ている部分の血液の流れが悪くなることによっておこる皮膚の変化です。そのような床ずれができないように、体圧を分散するマットレスの使用や定期的な体の向きを変えたり、栄養状態を整えるお手伝いをしています。



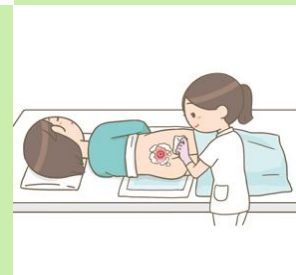
病気の治療には様々な医療機器を使用します。薬品の影響や皮膚が弱い状態の場合、医療機器の接触や擦れ(こすれ)によって傷ができることがあります。例えば、酸素チューブや血栓予防のストッキングが原因になることがあります。

このような傷ができないように観察をしっかりと行い、皮膚を清潔に保ち、皮膚の保護に努めています。

高齢者の皮膚は、皮下脂肪や筋肉量の減少で弾力が少なくなり薄くなります。少しの力で簡単に傷つくことがあります。例えば、ベッドの柵にぶついたり、テープをはがす時に皮膚がめくれてしまうなどです。

このような傷ができないように手足をアームウォーマーやレッグウォーマーで保護したり、保湿ケアを行い予防に努めています。

傷や床ずれが出来てしまった場合は、医師をはじめ多職種チームで適切にケアを行っています。

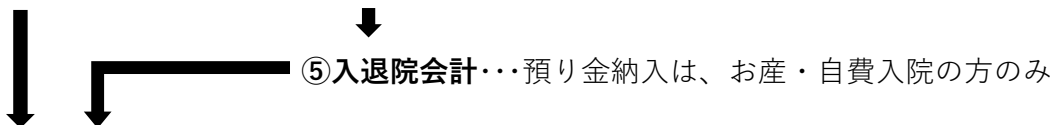


6.入院当日（院内表示⑥ 入退院受付へお越しください。）

⑥入退院受付・・・入院手続きを行います。

預り金納入がない方

預り金納入がある方（お産・自費入院）



各科外来窓口へ・・・入退院受付で渡されたファイルを窓口受付へお出しください。

↓
入院病棟へご案内

【病室の一例】



個室



2人部屋



6人部屋



6人部屋（室内）

7.入院オリエンテーション・・・入院日に入院病棟にて行います。

★手術・検査同意書、手術説明書（黄色の冊子）は、入院当日に忘れずにご持参ください。

入院生活に対して、不安や戸惑いを感じる方は少なくありません。

看護師は、そのような患者さんの気持ちに寄り添い、安心して入院生活を送っていただくために、患者さんの疑問点が解消し不安が軽減できるよう対応します。分からないことがあれば24時間看護師が対応しますのでご安心ください。

また、洗濯物や日常消耗品を持参しながら、自宅と病院の往復をされるご家族は大変だと思います。ご家族の負担を減らすため、入院中は病衣・おむつのレンタル・お泊りセットを是非ご利用ください。

病棟のご案内後、以下のような内容を説明します。

- 1日のスケジュール
- 週間スケジュール
- 病棟の構造
- 病院の規則
- 貴重品の管理方法 等



※貴重品は、床頭台のセーフティーボックスをご利用いただき、鍵の管理はご自身でお願いします。

※個室以外の病室のテレビ・冷蔵庫は専用カードが必要です。



テレビカード販売機・精算機



冷蔵庫



セーフティーボックス



床頭台

8.麻酔科医師による術前診察（手術予定の方）

B棟2階 中央手術室にて、麻酔の方法などについて説明します。

（麻酔の種類によっては、説明が行われない場合もあります。）



入口をはいって、
すぐ左側に説明室が
あります。



9.入院中の生活（詳細は、「入院のご案内」をご覧ください。）

1) 1日のスケジュール

- 6：00起床、21：00消灯
- 8：00朝食、12：00昼食、18：00夕食
- 10：00検温、14：00検温（患者さんにより異なる場合があります。）
- 入浴ができない患者さんは、看護スタッフが身体を拭いたり、洗髪をします。

2) 看護について

受け持ち看護師が入院から退院までケアを担当し、心配なこと・困ったことなどについて一緒に考えてまいります。どのようなことでも遠慮なくお話しください。

受け持ち看護師が不在時は、代行の看護師が担当します。

また、入院中のことについてのご意見は、責任者（看護師長、看護係長、主任看護師）にお申し出ください。

3) 安全対策（詳細は、「入院のご案内P12～14」をご覧ください。）

①お名前の確認

- ・リストバンドと共にお名前や生年月日を言っていただいております。
- ・点滴や内服薬など、その都度の確認となりますが、ご協力をお願いします。

②転棟・転落防止

「入院のご案内」のP12～14をお読みください。

- ・スリッパは、滑りやすく転倒の原因のひとつです。
サイズの合った運動靴や上履きをご準備ください。



- ・入院中は、ベッドでの生活になります。床に落ちたものを拾おうとすると、頭から転落しとても危険です。
- ・ ナースコールの位置を確認して、遠慮なく看護スタッフにお知らせください。
- ・夜間のトイレの際の転倒が多く発生しています。消灯前にトイレを済ませ、足元がふらつく方は看護スタッフをお呼びください。



遠慮なく看護スタッフにお知らせください。



4) 感染対策

①手指衛生

感染症の多くは「人の手」によってうつります。一番大切なことは、手をきれいにすることです。備え付けの「アルコール性手指消毒剤」をご使用ください。



②病院内ではお食事以外、常にマスクの着用をお願いします。



③感染を防ぐための取り組み

- ・病院職員が个人防护具（手袋、マスク、ガウン等）を着用して、患者さんと接することがあります。
 - ・患者さんにも个人防护具の着用をお願いすることもあります。
 - ・病室の移動をお願いすることもあります。
- ご協力をお願いします。



10.病院と地域をつなぐ医療チームの活動

地域の医療者と連携を図り、住み慣れた街でいつまでも暮らし続けるために、看護師が医療チームの要になり活動しています。多摩市は、高齢化への道を一步先に進んでいますが、医療介護における多職種連携の取り組みが充実しており、健康寿命が東京都内で第1位となりました。

当院では、下記のチームが活動しています。

- 循環器ラウンド
- 精神科リエゾンチーム
- 褥瘡ケアチーム
- 認知症ケアチーム
- 呼吸サポートチーム
- 栄養サポートチーム
- 早期リハビリテーション



11.入院支援・退院支援（詳細は、「入院のご案内 P.10」をご覧ください。）

患者さんが安心して入院生活を送り、退院後住み慣れた地域で療養や生活ができるよう支援しています。各病棟に退院支援専任職員（看護師、ソーシャルワーカー）を配置しています。患者さんやご家族と面談を行い、福祉サービス、療養先の情報提供を行います。

こちらの相談窓口もご利用ください。

- 患者相談窓口
- がん相談支援センター
- 脳卒中相談窓口
- 医療福祉相談



12.「ご意見箱」について

各フロアにご意見箱を設置しています。

職員の接遇、診療などに関する事、その他お気づきの点がありましたら、遠慮なく「ご意見用紙」へご記入いただき、ご意見をお聞かせください。

ご意見への回答は、院内コンビニエンスストア前の廊下に掲示しています。

看護へのご意見は、ホームページ（看護部ページ）に掲載させていただく場合もあります。

